

# 日本睡眠検査学会

## 2020年度（2020年9月～2021年8月）事業報告

理事長 八木 朝子

### （1）法人組織運営

1. 一般社団法人設立後の学会運営に関して、総務委員会を中心に執り行った。
2. 支部運営が、学会の規約、細則に則るため、また運営に対する支部間での認識の差をなくすため、全支部代表も含めての総務委員会を開催した。
3. 事務局業務軽減のため、年会費や学術集会参加費等の管理を、事務局から財務委員会へ移行した。

### （2）学術集会開催事業

1. 第1回学術集会を大会長八木朝子、副大会長山本勝徳にて、2020年12月12日（土）～20日（日）オンデマンド配信にて開催した。
2. プロコムインターナショナル配信会社に選定したが、委託費を差し引いた上、黒字決算となり収支上の成功を収めた。
3. 参加者数の総計は、329名であった。
4. 企画は、教育講演2題、シンポジウム2題、ワークショップ1題、一般演題9題、組織調査報告1題、緊急報告1題であった。
5. 後援団体7団体、広告（抄録+WEB）企業9社、寄付3社であった。
6. 第2回学術集会を大会長上野勝、副大会長高谷恒範にて、2021年11月13日（土）～12月5日（日）オンデマンド配信にて開催予定である。

### （3）支部例会活動

1. 8支部の全てにおいて、ウェブによる支部例会の開催を行った。
2. ウェブ開催方式では、オンデマンド配信またはライブ配信を行った。
3. 各支部のウェブ開催について、広報委員会ウェビナー作業部会との連携と指導にて、開催が実現している。

### （4）日本睡眠学会との協働関係構築

1. 当学会学術集会参加に対して、日本睡眠学会認定検査技師の認定更新単位が5単位付与されることが、日本睡眠学会の理事会にて決議されたことを受け、第2回学術集会より適応することとなった。

(5) 学会新規活動

1. 学会新規事業として、講習会の開催を講習会企画委員会で検討を行った。
2. 第1回講習会を、「PSG 解析の精度を高めるための基礎知識」をテーマとして、  
2022年2月4日(金)～18日(金)でオンデマンド配信にて行うことを計画した。

(6) 財務活動

1. 2020年度決算と、2021年度学会予算の作成を行なった。
2. 日本 PSG 研究会資産を移動し、旧口座（日本 PSG 研究会名義）の閉鎖を完了した。
3. 学会で統一設定された経費（交通費、謝金など）にて運用を行った。